

アルメニア UWC ディリジャン校 指岡 真太朗さん

留学期間 R1.8～R3.6 (2年間)

1 留学の成果

5月22日に uwc dijilijan を卒業しました。2年間の留学が終わりました。この2年間は新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中を震撼させました。また留学地のアルメニアと隣国のアゼルバイジャンとの間で戦争が勃発しました。平和で穏やかに過ごしていた自分の日本での生活とは大きな違いを体験した2年間でもありました。言葉を換えていいうならば、全く違った視点から世界の混乱の状況を眺めることができたことは非常に意味深いことでした。

振り返ってみると、この2年間は、新しい発見の連続でした。世界80カ国以上からの生徒が集まる uwc という環境では、様々な「違い」による価値観の隔たりがあり、意思疎通がうまくいかないことによる衝突もありました。そんな環境の中で改めて自分を見つめ直し、自己分析ができ、自分のアイデンティティーを確立することができたこと、また、隔たりを乗り越えて信頼関係を築けるような成熟した関係を結べる友人ができたことは私の財産になりました。

世界に点在する個人の力ではどうすることもできない社会問題や戦争、また戦乱に伴う諸問題を身近に感じつつ、個人としての自らの非力さを認識しました。それらの問題について友人と積極的に意見を交換し合いました。友人たちとの間に様々な違いがあるように見えても、尊敬する友人たちもまた自分と同じ一人の等身大の高校生であり、自分たちに何ができるかという同じ気持ちの持ち主だということに気づきました。いろいろな環境から集まった仲間と切磋琢磨する中で、日本にいた時には遙か遠くにある広いものだった「世界」がどんどん狭くなっていきました。「世界は広いが、世界は近い。世界は同じ。」これが私の UWC での私の最大の発見でした。

今年に入り4学期(1月～6月)はコロナの影響で、私が力を注いできた地域の子供たちにサッカーや英語、科学などを教えるボランティア活動を実施できず、とても残念な想いをしました。4学期の前半は通常の授業に加えて、日本の税制や経済について分析する課題研究に取り組みました。後半に入ると私たち2年生は授業を終え、国際バカロレア (IB) の最終試験への準備に入りました。これは世界共通の難関試験です。次の進路への大学入試にも関わります。試験直前には学校全体に緊張感が漂います。私も多くの友人とともに助け合いながら約一ヶ月を学習に懸命に取り組みました。努力をした分の手応えはありました。

今後の進路先や、その先の未来でここでの経験を存分に生かしていきたいです。中高生のみなさん、視野を広く持ち、世界に目を向けて見てください。怖いかもしれませんが、きっと日本だけではできない素晴らしい経験ができるはずです。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・ Japanese self-taught (SL)
- ・ Spanish ab-initio (SL)
- ・ Economics (HL)
- ・ Physics (HL)
- ・ Chemistry (SL)
- ・ Mathematics Analysis and Approaches (HL)

HL→Higher Level

SL→Standard Level

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・ サッカー（キャプテン）
- ・ チェス
- ・ 数学のチューター（数学に関する質問がある他生徒の手助けをした）

3 今後の活動予定

アメリカ、フロリダ州のフロリダ大学に奨学生として合格しました。今年の9月から4年間、産業工学（Industrial Engineering）を専攻し学んでいくつもりです。また、UWCで培った経験を活かして積極的にボランティア活動等を行なっていきたいと思っています。具体的な将来の夢は決まっていますが、自分にしかできない方法で、社会に貢献できるような働き方をしたいので、大学で様々な経験ができればいいなと思っています。これからも精進して参ります。

4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

この2年間は、19年間の中で一番楽しく、一番自分の成長を感じた2年間でした。これは、きぼう応援奨学金なしではできなかった経験です。この留学を可能にしてくださったふるさと納税寄付者の皆様には、本当に心から感謝しています。この2年間の経験が無駄にしないよう、これからも一生懸命頑張っ参りますので、引き続き応援よろしくお願ひいたします。

4 記録写真



●ヒンドゥー教のホーリー祭：

実際にヒンドゥー教の祭りを学校で開催し、皆で体験することで、宗教への理解が深まりました。

● 1、2年生対抗のサッカーの試合後：

サッカークラブのリーダーとして自分が企画した試合です。サッカーをしない他の生徒も見に来てくれて、学校を盛り上げることができました。



● 卒業前の伝統：

早朝に2年生が1年生の靴を学校中に隠した時に私が撮った写真です。いい思い出となりました。

● 卒業式にて同じ寮の生徒達と：

2年間共に同じ寮で過ごした仲間と撮った記念写真です。人数は少ないですがほぼ全大陸からの生徒がおり、多様性が伺えます。



● 卒業後に友人と登山：

学校の食堂からいつも眺めていた標高約2800mの山に登りました。アルメニアの美しい自然を楽しむことができました。